

より開かれた議会へ

～新しい議会のカタチ～

特集Ⅰ

学びを活かす



～勉強会・視察・研修会～

特集Ⅱ

気になる！進捗状況

- ・ オープンミーティング
- ・ 小学校保育園あり方検討特別委員会

特集Ⅲ



Fujimi

議会だより

No.

187

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ

令和7年8月1日



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

第12回 富士見の日 フォトコンテスト・長野日報賞「富士望む夏の高原」 佐川隆博

～ 新しい議会のカタチ～ より開



富士見町議会(定数11名)は5月16日(金)に臨時会を開き、申し合わせ任期満了に伴う正副議長と、常任委員会などの議会構成を決めました。正副議長の選出は本会議場で無記名投票により行い、小倉裕子議長(2期目)、牛山吉彦副議長(1期目)を選出しました。各委員会構成は、総務経済常任委員会は五味仙一委員長・矢島尚副委員長、社会文教常任委員会は西明子委員長・山口肇副委員長、議会運営委員会は山口肇委員長・矢島尚副委員長、議会広報編集委員会は牛山吉彦委員長・西明子副委員長をそれぞれ選任しました。

なお、臨時会冒頭に渡辺葉氏が、6月定例会冒頭には牛山基樹氏と三井新成氏が議員辞職され3名欠員となったため、7月20日に補欠選挙を行うことになりました。全議員の顔ぶれが揃ってから議会構成の全容をお知らせします。

議長

小倉 裕子

おぐら ゆうこ



このたび、議長に就任いたしました小倉裕子です。

今後は、議員個々の力、そして議会の力を発揮し、町民の当たり前の幸せを守っていかれるよう、鋭意努力してまいります。

私はこれまで、町民の皆さまに町の情報が100%しっかりと届き、行政が身近に感じられ、寂しい思いをする人がいないようにすることを目指してまいりましたが、まだ道半ばです。同様に全ての議員がそれぞれの課題を持ち、実現するために日々力を尽くしております。それらの課題を共有し、背景にある課題に目を向け、解決のためにひとつひとつ丁寧に議論を重ねてまいりたいと思っております。

また、役割として持っている議員立法による条例の制定、県・国に対する意見書提出も行なってまいりたいと思っております。

町民のみなさまの一番そばにるのが地方自治体の議会です。どうか私たちにお声を届けていただくとともに、住みよい富士見町を築いていかれるよう、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任のいらい

副議長

牛山 吉彦

うしやま よしひこ



全議員に推挙され副議長に就任いたしました。議長を支えながら、前任者が行ってきた議会改革をさらに推し進めてまいります。

二元代表制のもと議会は町長と対等の立場で互いに牽制し合う存在ですが、「理想の議会」実現のためには『個の力と組織力』が必要な要素だと考えます。町民との対話を怠らないように、町民の声がきちんと届くように、そして町民の願いが具現化するように、議員力と議会力を高める努力をしなければいけません。また議会は合議制であるがゆえに、議員間の「関係の質」を上げることで「思考の質」「行動の質」を高め、より良い成果を目指すことも重要な要素です。

新たな顔ぶれとなった議員全員とこの「理想の議会」を共有し、あらゆる学びや対話の機会を惜しまないよう日々精進してまいります。より一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

開かれた議会へ

総経 総務経済常任委員会

町議会議員として2期目の後期が始まりました。前委員長より受け継いだ「誰ひとり取り残さない優しい町、富士見」の言葉を継承し、集大成の2年間になれぱと考えています。

由々しき事態となっている「令和の米騒動」が町の農業にもたらす影響、勝ち続けてもらいたい自動車産業、精密産業が「モノづくり富士見」に大きな影響を及ぼす今後の動向、予測不能な地球温暖化という名の大災害の猛威にどのように対峙できるのか、二大リゾートを主軸とした観光産業への新たな投資など、総務経済常任委員会が所管する各課の事業に対し、常に町民の皆さんの安心と安全を念頭に慎重かつ丁寧に審査、審議を行い、明るく楽しい富士見町を創り上げていきます。

総務経済常任委員長 五味仙一



社文 社会文教常任委員会

社会文教常任委員会では、住民福祉課、子ども課、生涯学習課、建設課の環境係、消防課を所管するほか、諏訪南行政事務組合議会、南諏衛生施設組合議会、諏訪広域連合議会、諏訪広域公立大学事務組合議会の一部事務組合議会へ委員を派遣しています。一部事務組合議会では町単独では運営の難しい、ごみ処理・リサイクル施設、火葬場、し尿処理施設、広域消防、介護保険、大学運営まで幅広い分野を担当します。

所管する教育、福祉、環境、消防分野では、直面している超高齢化、超少子化のなかで、こども・若者、高齢者・障害者福祉、ジェンダー平等など多角的な視点を持ち、議員間対話を重視し闊達な意見交換の場となるよう委員会運営に努めてまいります。

社会文教常任委員長 西 明子



委員長あいさつ

議運 議会運営委員会

富士見町議会は、平成31（2019）年3月議会で、「富士見町議会基本条例」を制定しました。「町民に開かれた議会」をめざして、以下のような努力を積み重ねてきた5年間だと考えています。

- 本会議のほか、委員会や全員協議会を原則公開にする。
- 各種団体との意見交換会を設け、議員・議会の政策能力を高め政策提案する。
- 議会だよりの発行で議員活動を公表し、情報共有に努める。
- 議会報告会（オープンミーティングを含む）を開催して、町民の意見を聴取し議会運営の改善を図る。
- 請願及び陳情は、提案者の意見を聴く機会を設ける。

議会運営委員長としての自覚と責任を持ち、より開かれた議会をめざし努力します。

議会運営委員長 山口 肇



広報 議会広報編集委員会

この2年間では議会だよりを中心に様々な活動をしてきました。

『議会だより』を①多くの町民に読んでもらい、②町民の皆さんに町政に関心を持ってもらい、③町民の声を町政に届ける重要なツールとして活用してもらえるように工夫しました。

- 本会議（定例会・臨時会）の採決結果を文章からイラストに
- 委員会審査もQ&A形式で簡潔に
- 議会だよりは可能な限り簡潔にし、議会HPやYoutube配信等と連携を

さらにFacebookを立上げ＆配信、子ども向け議会見学会の実施やイベントに出向いてシールアンケートなど、新たな取り組みも行いました。

次の2年間は『広報』だけでなく『広聴』にも重点を置き、「開かれた議会」をさらに推し進めてまいります。

議会広報編集委員長 牛山 吉彦



学びを活かす



議会勉強会

更生保護制度と再犯防止推進

3月11日(火)長野保護観察所企画調整課長 田代久志氏、主任保護観察官 宮下崇氏を講師に招き、「保護観察制度の概要と犯罪発生状況」や保護司の役割について学びました。



① 再犯防止推進計画

再犯防止推進法(平成28年)に基づき、長野県では令和元年に「長野県再犯防止推進計画」が策定され、令和5年には、第二次推進計画が策定された。犯罪をした者に対し、国や地方公共団体、さらには民間団体等が、それぞれの役割に応じてその力を発揮し合って「息の長い」支援を実施するための施策が盛り込まれた。

② 地域社会と共に歩む更生保護

犯罪や非行のない明るい社会を築くためには、犯罪や非行に陥った人が罪をつぐない、立ち直ることができるようにすること、犯罪が発生しないような地域社会を築くことも重要。犯罪や非行に陥った人が通常の社会生活を送りながら健全な社会の一員として立ち直るよう、国とボランティアとが力を合わせて指導・援助することを中心とした制度。



保護司とは…

法務大臣から委嘱された民間の篤志家(非常勤で無給の国家公務員)。

保護観察所の保護観察官と協働して、保護観察に付されている人と定期的に接触し、生活等の問題に対して指導、助言や援助を行う。少年院や刑事施設などの矯正施設に収容されている人が円滑に社会復帰できるよう生活環境の調整を行うほか、地域、関係機関・団体などと協力して犯罪予防活動なども行う。

交流会

ハヶ岳定住自立圏 3 市町村議員交流会

4月24日(木)原村を会場に、議員交流会が開催されました。樫の木荘、ハヶ岳自然文化園、文化財収蔵庫を見学し、施設や原村の施策、取り組みについて説明を受けました。



① 原村の移住・定住施策の取り組み

- 受け入れ環境の整備(別荘地、住宅団地)
昭和45年から継続して環境整備
- 人材活用(田舎暮らし案内人、地域おこし協力隊)
田舎暮らし案内人(ボランティア)の認定は平成19年度開始
- 体験住宅(2棟を交互利用)
平成30年から活用開始。ネットでの事前予約制(利用目的の記入)
- ハヶ岳定住自立圏連繋の取り組みが開始された
3市町村合同の移住セミナーの開催
ハヶ岳で暮らそう! 移住体験ツアーの共同開催

② 文化財系の広報活動

- 「原村の文化財ガイドブック」の発行、配布
- 小中学校での定期的な展示や出前授業など



阿久遺跡視察時のようす

社会文教常任委員会の視察

南牧村美術民族資料館 & 北相木村考古博物館

3月21日(金)社会文教常任委員会は、井戸尻新館建設に向けて出土品展示の工夫や遺跡保存の実態を調査するために、南牧村美術民族資料館(志なの入遺跡)と北相木村考古博物館(栃原岩陰遺跡)を視察しました。

南牧村美術民族資料館



- 昭和62(1987)年、開館。
- 冬季間は閉館するが、平均4000～5000人の来場者。
- 現在の担当職員が学芸員資格を持ち、縄文期の展示として整備した。
- 5月、志なの入遺跡から見つかった女性の骨をもとに作られた人体の復元模型が完成披露。
県元気づくり支援金を活用。

南牧村美術民族資料館▶



北相木村考古博物館



北相木村考古博物館▲

- 平成4(1992)年、過疎対策の起債により、開館。
- 北相木人(貴重な頭骨の発見、復顔された男女像)
- 動物の骨、貝殻を使った骨器、骨角器、貝の装飾具が特徴的な展示。
- ジオラマ①「北相木人の岩陰での生活」は、時代的にズレのある出土品が一括展示されており、来館者に誤解を与える恐れがあるとのこと。
ジオラマ展示の難しさ。
- ジオラマ②「発掘現場の再現」は、地層断面や発掘現場の様子が分かり参考になった。



Check!!

まとめ

出土品展示の工夫や苦勞。地域に支えられる博物館や学芸員の重要性を学ぶ視察となった。



詳しくはこちら

交流会

諏訪郡町村議会広報委員会交流会

1月21日(火)下諏訪町・原村・富士見町の議会広報委員による交流会をJA会館ふじみで実施しました(今回の当番は富士見町)。早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を講師に迎え、『①議会だよりの有効活用、②効果的な広聴スキル』について実践的な研修会を行いました。

カリキュラム

講義
グループワーク① (パワーランチ)
全体セッション①
グループワーク②
全体セッション②



グループワークの様子

Check! /

学び

- 議会活動の起点は広聴
 - 情報公開から情報共有
 - 住民参加から住民参画
- 参加/『いま行っていること』へ住民が加わる
参画/『これから行うこと』へ住民が加わる

イメージにすると...



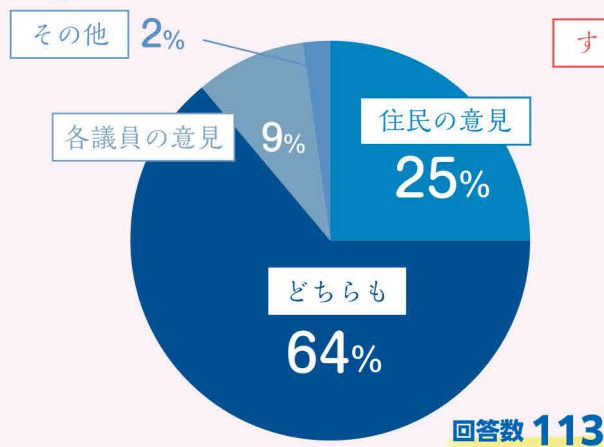
広報活動

シールアンケート

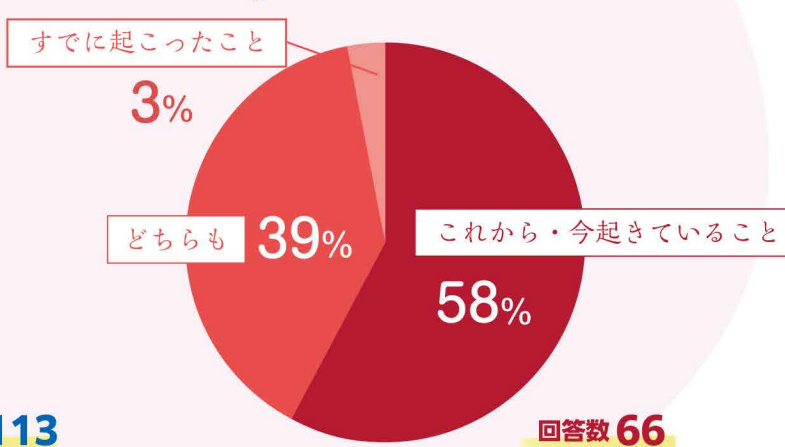
4月26日(土)ふじみグリーンフェアにて広報編集委員によるシールアンケートを実施しました(昨年に引き続き2度目)。

Q. 議会だよりでどんな情報を知りたいですか？

Q1 「住民の意見」 or 「議員の意見」？



Q2 「予定」 or 「結果」？



Check! /

学び

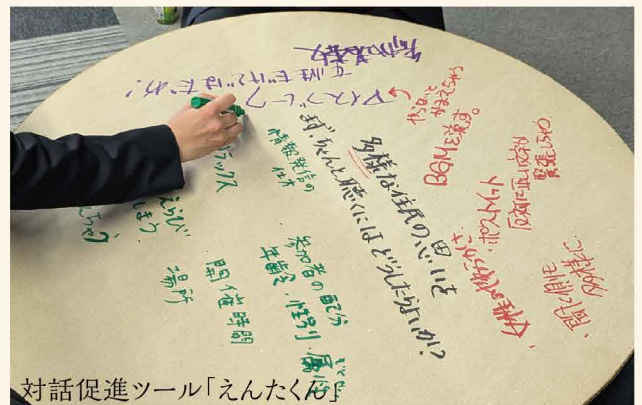
富士見町の議会だよりはQ1:「議員の意見」を、Q2:「結果報告」を重視してきましたが“それだけでは足りない”ことが判明しました。今後は『広聴』や『参画』にも力を入れる必要がありそうです。

5月13日(火)原村・富士見町議会合同のファシリテーション研修会を実施しました。東京工業大学(現 東京科学大学)名誉教授でファシリテーターの中野民夫氏を講師に迎え、自分の意見を述べがちで人の考えを聞かない傾向にある地方議員が本来行うべき「住民の声やニーズを聞いたり、意見交換の中でコーディネートを行う」役割を果たせるように、実践的な研修を受講しました。

冒頭から唄を歌ったり、画期的な対話促進ツール『えんたくん』を使った4人グループの対話をしたり、意表を突かれた研修内容に受講生である議員たちは普段見せない表情とともに刺激的な時間になりました。



グループワークのようす



対話促進ツール「えんたくん」

Check! /

学び

1.「会話」と「対話」と「議論」は違う

- 「会話」conversation … 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談
- 「対話」dialogue … 創造的な営み
特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと
正解や勝ち負けは無い。新たな創造につながる創造的な話し合い
- 「議論」discussion … どちらの意見が正しいか、正解を競いがち
勝ち負け(勝者と敗者)がある(例:ディベート)。結論が求められる。

2.「成果」を急ぐより

まずは「関係の質」を上げる



組織の成功循環モデル▶
ダニエル・キム

気になる！進捗状況

第7回オープンミーティング
(2025.2月開催)

参加して
よかった！
もっと聞きたい！
話したい！
貴重な25人の

声

区政、参加できてる？

担当議員：山口肇 牛山吉彦

声

区への加入促進

【総務課】

- ・転入届提出の際に、区への加入呼びかけ
- ・集落生活を紹介動画、区の紹介チラシを作成中

声

区の負担軽減

【建設課】

- ・区内道路の整備 → 一般質問 P12 牛山議員



他自治体の集落加入促進パンフレット（飯島町）
富士見町オリジナルの紹介チラシを制作中

災害時、あなたならどうする？

担当議員：名取久仁春 矢島尚 西明子

声

自主防災組織の体制

【総務課】

R7 年度～防災士連絡会発足→防災士同士の情報共有
町の補助による防災士取得者の自主防災会への参画

声

避難所運営（一次・二次）
避難所の運営は誰がやる？

【総務課】

各区・集落ごとの防災訓練・避難所の資材確認

【総務課 × 生涯学習課】

ジェンダー視点を取り入れた避難所運営を職員が実施

声

子ども・高齢者の避難

【子ども課】

小中学校での下校時避難訓練

【子ども課 × 総務課】

教職員向けの防災研修・小学生へ防災の授業

【住民福祉課】

1人で避難が困難な方の個別避難計画作成

コンパクトシティってなに？

担当議員：織田昭雄 五味仙一 小倉裕子

声

コンパクトシティって富士見町には合わないかも。地域の行事や田畑も守らないと。それが張り合いだもんね！

でも…役場や病院
やお店から遠いね

声

やっぱり公共交通は必要！
R5年、6年のバスの実証実験
どうなったのかな。



【産業課】

今年度はこれまでの実験結果の検証と自家用有償運送の活用 & 夜便の実証を行います。町民にとってより良い公共交通の方策を検討！

町、議会ともに取組中の活動を引き続き注視！

進展があり次第、進捗報告してまいります！

小学校保育園あり方検討特別委員会

活動報告

小学校保育園あり方検討特別委員会とは…

教育的視点に加え、国庫補助金や地方債などの財源、新築、改築、統合の方法、他の公共施設との複合化、防災拠点としての活用等、様々な角度から調査研究をして議員全員の資質を向上することを目指した委員会です。

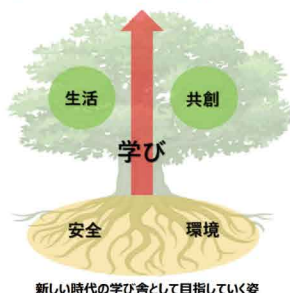
『国の方針』

～新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方～

5月20日、大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課の扇谷圭一課長補佐（一級建築士）をお呼びし、文部科学省のミッションや学校施設を取り巻く近年の課題に加え、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について先進事例を交えて説明いただきました。

【新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（ビジョン）】

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（イメージ図）



『県の方針』

～小中学校の学校改革の推進～

6月13日、長野県教育委員会事務局（学校改革支援センター）の小池徳男参事と藤井篤徳氏を招き、「学校改革」の背景やウェルビーイング実践校 TOCO-TONの詳細、学校改革支援センターの支援内容について講義していただきました。



長野県教育委員会が発行するコンセプトブック

目指す姿



『すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求するための一人ひとりに合った学びを自ら選択できる状態』

公立における「一人ひとりに合った学び実践校」を長野県から

『県内視察』

～伊那西小学校・伊那西地区を考える会～

6月30日に伊那西小学校を視察。地域に開かれた学校（校内に公民館を併設）&小規模特認校という特徴ある小学校の有賀大校長と伊那西地区を考える会の皆さんとの意見交換を通じて、地域を盛り上げようという情熱や様々な成功事例とともに苦労話もたくさん伺うことが出来ました。

伊那西小学校 「小規模特認校」として学区外からも通学可能となり、各学年15名定員の少人数教育を実施。校舎に隣接する広大な学校林を活用した様々な活動や地域と一緒に学ぶ取り組みなど、個性を伸ばす教育が行われています。

伊那西地区を考える会 「伊那西地区の未来を考え、地域の交流促進や活性化に寄与する活動を行う」地域コミュニティ。公民館は学校に併設されており、住民が小学校を活動の拠点として様々な活動や情報発信を行っています。



伊那西小学校「森の教室」

7月以降の予定

- ✓ 7月17日「国補助メニュー」オンライン講義受講
- ✓ 7月20日以降に新メンバーを交えて活動内容およびスケジュールを再調整

一般質問要旨

町の考えを問う

6月定例会の一般質問は6月9日に行われました。4人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は各議員の質問と行政側答弁を合わせて1時間で、通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



一般質問の映像はコチラ



質問順

1

やまぐち はじめ
山口 肇

議席 2

1. 農業施策について
2. 中学校部活動の地域移行について

6月9日

2

おだ てるお
織田 昭雄

議席 1

1. 防災訓練の今後について
2. 第6次総合計画の進捗状況について

3

にし あきこ
西 明子

議席 10

1. 町の生物多様性保全について
2. 「こども計画」に記載された包括的性教育の推進について

4

うしやま よしひこ
牛山 吉彦

議席 5

1. 町内道路の改良・維持管理について
2. 獣害対策（主にサル）の状況と今後の方針について
3. 「富士見町DX推進計画」について

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

VOICE

富士見町議会議員「補欠選挙」に至るまで

公職選挙法によると「市区町村議会においては、欠員が定数の6分の1を超えた時に補欠選挙が行われる。ただし、この条件を満たさない場合でも、市町村長の選挙等が行われる場合、選挙の告示前（市区町村の場合は選挙の告示の日前10日）までに欠員があれば、同時に補欠選挙（いわゆる便乗選挙）が行われる。」また「補欠選挙を行うべき事由が発生した場合50日以内に行われる。ただし、任期満了の6か月以内に欠員が生じた場合、補欠選挙は行われない。」となっている。

富士見町議会議員の補欠選挙が7月20日に行われた経緯は下表の通りです。

日程	事由	欠員数（定数比）	—
5/16 臨時会	渡辺葉氏辞職	1（9.1%）	—
6/5 定例会初日	牛山基樹氏・三井新成氏辞職	3（27.3%）>1/6	7/24までに補選要

Point! 5/16時点では補欠選挙の必要はなく、8/3町長選に合わせた便乗選挙が可能

Point! 6/5時点で欠員が3名となり1/6（16.7%）を超えたため、7/24までに補欠選挙が必要になった

休日部活指導者からの意見聴取の予定は

【答弁】 年度当初、新人戦大会付近、年度末の3回を



映像はこちら



やまぐち はじめ
山口 肇 議員

Q 休日部活の地域移行によって、先生方の超過勤務はどの程度改善されるか。

A 令和8年度計画完了後は、休日部活動勤務をするのは、兼職兼業申請の職員のみになる。

Q 部活動は地域クラブとなり、指導者が仕事を終えてから7時頃の活動開始になる。4時に下校した中学生は、どこでどう過ごすのか。

A 下校後の空白の時間の子どもたちの居場所については、重大な課題として子ども課とも検討している。町の地域のクラブとして、多世代が共にスポーツや文化活動に取り組み、楽しみを見出していくことが目標となる。

■町の農業施策

Q 水張に代わる「連作障害を回避する取り組み」の内容と決定までの経過は。

A 町の再生協議会が認める取り組みであれば、独自内容も認められる。県やJAに助言をいただきながら、農家の方の負担軽減を最優先に、八ヶ岳西麓3市町村で協議し決定した。

Q 町の第6次総合計画の「環境負荷の少ない農業の推進」について、JA 信州諏訪との協議の状況は。

A JAの「地域農業振興計画」にも持続可能な農業の推進が掲げられている。今後とも連携強化しながら進めていく。

Q 地元産の米や野菜が学校給食に提供されていることを住民に知らせては。

A これまであまりPRしてこなかった。紹介はできると思う。



田植えの終わった水田

第6次総合計画の前期2年の評価は

【答弁】 人口減少対策には一定の成果があった



映像はこちら



おだ てるお
織田 昭雄 議員

Q 第6次総合計画基本計画前期の中間2年が経過したが総合的評価はどう見るか。

A 全ての施策は人口減少施策に繋る事を基本に、質と量を高める、レベルを上げる事が、人口増に通じると取り組んだ。推計人口は6年連続の社会増で、人口減少が抑制され移住、子育て施策は一定の成果に繋がった。総合計画前期は目標に大きな遅れや変更はない。富士見駅前の環境整備計画は商業検討会を立ち上げ、3つのテーマを話し合い総合計画に大枠として明記し、すぐに取組めるものから着手している。都市計画道路役場通り線の、計画区間の両端部分で用地交渉が難航し、事業開始から10年近く経過した現在も全線の完成を見ていない。都市計画の事業認可が令和8年に満了になるため、この期間内での全区間の完成に向け、県に協力し努力していく。合葬式墓地については整備をする前提で今調査や検討をしている。整備の時期は明確に言えないが、出来るし、作るつもりだ。

A 48名の方は日本防災士機構の情報提供で分かった。この方達にも町から情報を提供し、是非連絡会に参加して頂く様呼び掛けていきたい。

■防災訓練の今後

Q 町の補助事業で資格を取った防災士は、連絡会のメンバーの63名だが、企業や個人で資格を取った48人も連絡会に入ってもらわなければならないか。



第6次富士見町総合計画

第6次
富士見町総合計画

(基本構想)
2023～2030年度
(基本計画(前期))
2023～2026年度

富士見町

生物多様性保全に向けた取り組みは

答弁 町の豊かな自然を守ることが基本

Q 生物多様性保全の認識は。

A マクロな視点では地球温暖化対策、ミクロな視点では特定外来生物の駆除、特定の絶滅危惧種の保護など地道な取り組みを継続していく。

Q ホテイアツモリソウ以外の希少種の保全は。

A 町内では多くの希少種が確認されている。これからは町民に知っていただくことが重要。希少種の公表や発信については県や環境省の意見も聞きながら慎重に進めたい。

■包括的性教育の推進

Q 保育園、小中学校の取り組み状況、保護者への伝え方は。

A 保育園では、水着で隠れるところは見せたり触らせたりしない、嫌だと思ふことをされたら嫌と言う、逃げる、安心できる大人に話すことを指導。保育園ではお迎えの際に保護者に伝え、小中学校では学級だよりや保健だよりを活用している。特に外部講師による授業後は保護者にもわかりやすくまとめて伝えている。包括的性教育・人権について、PTA 向けの研修会を計画する際に提案も行っていると聞いている。

Q 課を横断した取り組みは。

A 住民福祉課でも女性の妊娠や出産の支援だけでなく、男女問わず自分と相手の心と体を大切にすることとして啓発し、保健指導や健康教育として伝えられるよう計画していく。

Q 公共施設や学校での生理用品の配置状況は。

A コミュニティプラザのトイレにはこの6月より置き始めた。学校のトイレでの生理用品の配置はなく、保健室で養護教諭が対応。

包括的性教育に関する絵本など



映像はこちら



にし あきこ
西 明子 議員

補助金活用の区内道路整備に見直しは必要か

答弁 地域住民の協力のもと有効に機能している

Q 「幹線道路整備が終わり次第、区内道路整備に移行」との方針だが。

A 多くの要望があがっているので、公共性が高く整備の効果が高いと見込まれる路線から順次着手したい。補修には多額の費用がかかるため、なるべく有利な制度(財源)を活用したい。

Q 町の補助金には上限があり主に区の負担金で区内道路整備を行っているが、区への加入率が低下している中、現行制度は時代に合わなくなっているのでは。

A 総延長900km超の町道があるため、町職員の力だけで地域の快適な生活環境を維持していくのは困難であり、特に各地区の区内道路や側溝等に関しては、各地区の皆さんの力を借りて協働のカチで維持修繕を行っている。各地区の判断で工事が行えて早期に不具合が解消できるという点からも、町の補助事業については有効に活用してもらっていると考えている。

■獣害対策(主にサル)

Q 大型のICT檻によるサル捕獲は狙い通りか。

A R6年度に12頭、R7.4月に9頭の捕獲実績。年間100頭捕獲を目指して、GPSによる行動把握、先進

事例の視察、餌の嗜好調査など捕獲に必要なノウハウ蓄積は出来ており概ね狙い通り。新たな技術の活用も含め取り組みたい。

Q 「追い払い」など住民と協働の施策は。

A ロケット花火を支給して追い払いを協力してもらっている。町としては「捕獲と環境整備」を基本方針として対策を推進している。

映像はこちら



うしやま よしひこ
牛山 吉彦 議員



大型ICT檻(農林保全係より)

令和7年5月16日臨時会を開き、申し合わせ任期満了などに伴う正副議長と常任委員会などの議会構成を決め、町から提出された専決処分や工事請負締結など9つの議案を審議しました。議案に関する決定事項は以下の通りです。



動画はこちら

決まったこと

条例
改正



特定親族特別控除

R7.4月施行の法改正に伴い富士見町税条例等を一部改正。特定親族特別控除を追加。

契約
締結

1億 1,880 万円



中学校大規模改修

富士見中学校の大規模改修工事（屋内運動場ほか外壁、屋根長寿命化工事）

契約
締結

1億 978 万円



防災行政無線更新

防災行政無線の子局71局のうち22局と再送信子局1局の更新工事（4年工期のR7年度分）

契約
締結

1億 2,793 万円



道の駅リニューアル工事

道の駅信州蔦木宿直売所のリニューアル工事（直売所の撤去はお盆明けから）

財産
取得

708 万円



移動式エアコン

移動式エアコン大小3台、スポットエアコン5台

補正
予算



年度末における人件費や財産等確定

年度末（令和7年3月末）における職員数や保有財産の確定による人件費および利子等の金額補正

本会議における 質疑

防災行政無線

- Q 工事は4年計画だが、工期を早めることは出来ないか。
- A 全72局のうち今年度は23局の工事を実施。全体的な町の財政状況を踏まえながら工事を進めたい。
- Q 予算より1千万円減額されたが、その要因は。
- A 一般競争入札で新規業者に委託した場合は調査費用が1千万円ほど必要になるが、今回は随意契約としたため調査費用分が減額となった。

道の駅リニューアル工事

- Q 3月定例会で議論になった工事の開始時期は。
- A 直売所の撤去作業は、影響を最小限にするため8月お盆明けに開始予定。
- Q 関係者への説明は徹底したのか。
- A 道の駅信州蔦木宿の理事や生産者組合責任者には事前に説明を行っている。

令和7年5月 第543回 臨時会 採決結果

賛否が分かれた審議はなく、全議案が全会一致で可決・承認されました。

賛成意見 「防災行政無線更新」 4年工期の枠内で、出来るだけ早く工事を進めて欲しい。

定例会

第544回

令和7年6月

6月定例会は6月5日から6月17日の会期で開催され、条例改正や契約締結、令和7年一般会計補正予算、陳情に加え人事案件の8議案を可決、採択、承認しました。議案に関する決定事項は以下の通りです。

決まったこと

契約
締結

5,982 万円



告知放送システム更新

現在の業者撤退に伴う告知放送システムの更新工事。エルシーブイに随意契約

補正
予算

61 万円



楽酪ミルク工房補修

窓ガラスの補修、排水工事、不要物処理

補正
予算

152 万円



町民広場の漏水調査等

水漏れによる調査、サッカーゴールの更新

本会議における 質疑

令和7年度富士見町一般会計補正予算（第1号）

- Q 「楽酪ミルク工房」の指定管理者選定にいたる経緯は。
- A 平成9年度に国の補助事業を活用し、農畜産物処理加工施設として整備したが、社会情勢の変化等により「乳製品の加工」では、事業継続が困難になった。ハケ岳西麓ワイン特区認定によりワインへの注目度が高まったことで、用途変更により整備事業を継続することとした。

- Q 今後のスケジュールは。
- A 5月選定委員会にて、募集要項等検討。7月、町ホームページにて指定管理者の募集開始。8月選定委員会にて、審査・決定。9月議会にて、指定管理者の議案上程。議決後、協定書の発効。10月、運営開始。

令和7年6月 第544回 定例会 採決結果

賛否が分かれた審議はなく、全議案が全会一致で可決・承認されました。



動画はこちら

【賛成意見】【陳情第7-5号 高額療養費の自己負担上限額の引き上げの撤回を求める陳情】
実質所得が3年連続減額の中、高額療養費の自己負担額引き上げは不適切である。

委員会付託とは

富士見町議会会議規則第39条により、通常の定例会においては①議案提出者の説明、②議員の質疑の後、所管の常任委員会に付託して協議していますが、今定例会においては議案については委員会付託をせず、陳情については専門性を伴うものと議会運営委員会が判断したため、社会文教常任委員会に付託しました。

富士見町議会会議規則第39条（抜粋）

会議に付する事件は、他に規定する場合を除き、会議において提出者の説明を聞き、議員の質疑があるときは質疑の後、議長は、討論を用いないで会議に諮って所管の常任委員会又は議会運営委員会に付託することができる。（後略）

社会文教常任委員会

【陳情第 7-2 号 さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める陳情】

- Q 個別のインプット、グループワークでの学習が今の学校での学び方と思うが、現場の人数は適正か。
- A 近年求められているのは、思考力判断力。そのなかで、教員が子どもたちに手厚くケアできない現状がある。35人学級でも大変なので、グループの活動も取り入れながらやってはいるが、少人数であることは重要な要素。

【陳情 7-3 号 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情】

- Q 義務教育費国庫負担については、教員のほか栄養職員・事務職員等、学校で働くすべての職種の人たちについても国庫負担の対象となっているという理解でよいのか。
- A そのように認識している。

【陳情 7-4 号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める陳情】

- Q 子どもたちの実態に合わせたカリキュラムの編成はどのようなものか。
- A カリキュラム編成は、子どもたちの実態を考慮し、担任教師に任せているところもあるが、根本的には教育課程の時数と内容の過積載を見直す必要がある。
- Q 時数が増えていくことによる不登校増加との関係は。
- A 一人一人の子どもたちの肯定感を高め、思考判断表現を重視した教育にシフトしていこうとしているなかで、授業時数の問題等も足かせになっている。

【陳情第 7-5 号 高額療養費の自己負担上限額の引き上げの撤回を求める陳情】

- Q 民間の保険でカバーできるものは。
- A がん保険等に加入していればカバーできる部分も多い。ただ年代別のがん罹患患者数で見ると、50代までは女性の方が多く、特に15～39歳までの若年層いわゆるAYA世代と言われる年代の女性は、働いていても低収入の方が多く、保険加入が少ないと予想される。

みなさんのお声を聴かせてください。

△ 切り取り線 △

< 切り取り線 >

みなさんの **声** を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。

議会へ声を届ける方法



郵送
(上部ハガキ)



入力
フォーム



<https://logoform.jp/f/ACVfo>

4つの陳情は本会議で採択され、意見書を送付

- 1 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める意見書」
- 2 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」
- 3 「『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求める意見書」
- 4 「高額療養費の自己負担上限額の引き上げの撤回を求める意見書」

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございました。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより（匿名）で掲載させていただく場合があります

☐ 許可する ☐ 許可しない

< 切り取り線 >

TOPICS

6月17日 富士見小学校 児童クラブ視察

富士見小児童クラブ工事の進捗状況を全議員で視察しました。令和6年8月の臨時会で設計費を承認して以降、新設に向けた意見聴取や運営の改善等も含め、全員協議会や本会議でも繰り返し質疑してきました。視察時は室内の断熱工事中で、最新の省エネ基準に合わせ断熱材が配置され、外壁や内装は子どもたちの意見をもとに色を決めたとの説明もありました。工事完了を9月30日に予定し、早期の完成が目指されるそうです。新児童クラブ室では放課後子ども教室の開催も予定されているため、今後の動向も注視していきます。



NEWS

Facebook 随時更新中！



富士見町議会ではFacebookを随時更新中です。一般質問や本会議の情報を確認いただけます。ぜひご活用ください。

議会活動、全員協議会のスケジュールは
ホームページをご覧ください。

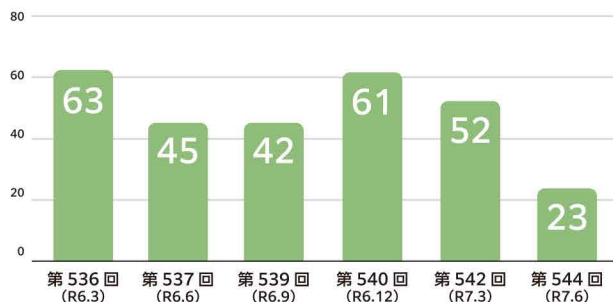


議会を傍聴しませんか？

9月定例会(予定)

9/11	木	開会・議案説明
9/12	金	質疑
9/16	月	一般質問
9/17	火	📞 予約制の託児も利用できます
9/18	木	
9/19	金	決算審査
9/22	月	
9/24	水	常任委員会
10/3	金	討論・採決・閉会

これまでの傍聴人（定例会） 単位：人



POST SCRIPT

編集後記

新体制による議会だより8月号でしたが、さらに新メンバーを加えた体制で残り2年間に臨みます。引き続き町民の皆さんに親しまれる議会だよりに取り組むと同時に、広報（情報提供）のみならず広聴活動ができる委員会を目指したいと考えております。議会（議員）と町民の関係をより良くするために、今後も日々研鑽を積む所存です。

議会広報編集委員長 牛山吉彦

